

# 事業計画書の 重要性・作成の 必要性はこう伝える

櫻沢 健

事業計画書の作成に前向きになってもらうには、どんなアプローチが有効か解説する。

## 1 社員のヤル気向上・ 経営改善の第一歩と なることを伝えよう



**経** 営状態が良くない取引先を訪問すると、その兆候を至るところで目にするはずだ。廊下や階段が掃除されていない、工場が雑然としている、社員のモチベーションが低い……。このような状態にある取引先は、ただ目の前の仕事をこなしているだけに過ぎない。

こうした状態では業績の回復は厳しいだろう。社員は皆会社が立ち直ると信じて働いているはずだが、自分たちが何をすればよいかわからない状態にあることが多い。これは、羅針盤のない船で大海原を航海しているようなものだ。

そこで必要となるのが「事

業計画書」である。事業計画書は、自社の「夢物語」をまとめるものではない。ましてや金融機関に言われたから作成するものでもない。経営状態が悪化しているとき、自分たちが置かれた状況を整理し、経営改善につながる事業を見極めて、社員全員が前向きになるために作るのだ。

社員が、ゴールも分からないままただ走っている状態は、あまりにも危険だ。事業計画書があれば、ゴールが分かり、そこに到達するためどんな準備を行い、何に力を入れればよいかが整理できる。結果的に社員の仕事に対する姿勢も変わり、モチベーションが向上していく。金融

機関の担当者は、このような事業計画書のメリットを経営者にしっかり伝えよう。

一緒に作成することで  
新たな「気付き」も

金融機関の担当者が寄り添い、作成を支援できるということも明確に伝えたい。事業計画書の作成にあたっては、担当者は経営者と一緒に、取引先の現状や将来の展望を整理していく。これは、経営者に新しい「気付き」を促すことにもつながるのだ。今まで思いつかなかった打開策が見つかるかもしれない。

以下では、経営者に事業計画書の重要性や、作成の必要性を伝えるアプローチトークを挙げる。こうしたトークも活用しながら、事業計画書の作成こそが現状を変える手段であるということを認識してもらい、作成に前向きになってもらうことが肝要だ。

## 声かけ1 事業計画書を作ることで 各事業の損益状況を 整理できますよ



**経** 営者ならば、自社の部門別・商品別の損益を把握しておくことが必要だ。

どの事業が儲かっていて、どの事業が足を引っ張っているのか、具体的な数値で把握しておかなければならない。

しかし、多くの中小企業の経営者はこれできていない。そのため、儲からない事業に多くの経営資源を投入していることもあるのだ。そのような状況を変えるきっかけとなるのが「事業計画書の作成」である。

### 経営者の頭をリセット

金融機関の担当者は、経営者にまず「御社はどの部門がどれだけ儲かっているか把握されていますか」と聞いてみ

よう。おそらく顔を背けてしまふ経営者が少なくないだろう。そこで担当者は「事業計画書を作成し、改めて御社の損益状況や、強み・弱みを整理していきませんか」と言っ

て、事業計画書の作成を勧めたい。

経営者の頭の中は、自社でどう存続させるかということ一杯だ。とにかく、目先の仕事や資金繰りのことしか眼中にない。そこをリセットさせて、強み・弱みをハッキリさせる——そのために事業計画書の作成が欠かせないということを伝えよう。

### POINT

部門別・商品別の損益把握が経営改善の第一歩だと理解してもらう

## 声かけ2 制度融資や保証協会の 審査がスムーズになり 資金調達しやすくなります



**制** 度融資の中には、事業計画書の提出が申込要件の1つとなっているものがある。また申込みには必須ではなくても、制度融資や信用保証協会、そして自庫で融資を行う場合、事業計画書があればスムーズに審査が進むことが多い。本トークは、そのことを経営者に理解してもらい作成を促すものだ。

### 自社の将来のために作る

ただし、経営者に「申込みに必要なから仕方なく作る」「スムーズに審査が進むならとりあえず作る」と思わせないうようにしたい。融資を受けるために形だけ取り繕った事業計画書を提出しても、何の意味もないからだ。

### POINT

スムーズな資金調達だけでなく事業継続に欠かせないことを説明

担当者としては、融資の審査においてなぜ事業計画書が必要となるのか説明しよう。もちろんその理由は、事業を継続できるか否か、どこまで業績を戻せるのか見極めるためにある。

これは、経営者にとっても重要なテーマである。自社が今後も事業を続けていくにはどうすればよいのか、事業計画書ならそれが分かる。だから、形だけ取り繕っても意味がないわけだ。経営者には自社の将来に欠かせないツールであることを伝え、真剣に取り組んでもらおう。